

腎臓機能障がいに関する アンケート調査結果報告書

平成 27 年 9 月

伊豆市健康福祉部社会福祉課

【目 次】

1. 調査の趣旨と方法等	1
(1) 趣旨	1
(2) アンケート調査の実施概要	1
(3) アンケート回収状況	1
(4) 報告書中の表記	1
2. 回答者の属性分布	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 地区別	3
(4) 職業	3
3. 設問別調査結果	4
(1) 透析療法の実施について	4
(2) 透析の形態について	4
(3) 透析の回数について	5
(4) 透析を受ける医療機関について	5
(5) 通院手段について	6
(6) 夜間透析の医療機関について	7
(7) 夜間透析の生活への影響	7
(8) 伊豆赤十字病院での夜間透析について	7
(9) 市の支援について	8
4. まとめ	10
5. 別添 アンケート調査票	

1. 調査の趣旨と方法等

(1) 趣旨

この報告書は、平成 27 年度に行った「腎臓機能障がいにかかる調査」の結果をまとめたものである。

本調査は、腎臓機能障がいの方々の状況を把握し、今後の障がい福祉の支援策の基礎資料とすることを目的としている。

(2) アンケート調査の実施概要

実施主体：伊豆市社会福祉課（障害福祉スタッフ）

実施対象：7 月 31 日現在において、腎臓機能障がいと身体障害者手帳の交付を受けている方

基 準 日：平成 27 年 8 月 1 日

実施方法：郵送配布、郵送回収（配布時に返信用封筒を同封）

(3) アンケート回収状況

対象件数：郵送数 119 件

回収状況：回収数 88 件

回 収 率：73.9%

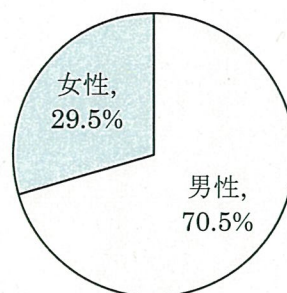
(4) 報告書中の表記

本報告書では、集計結果の数値を、小数点以下第 2 位で四捨五入している。その場合、各回答の合計を 100%にするため、端数調整をする場合がある。

2. 回答者の属性分布

(1) 性別

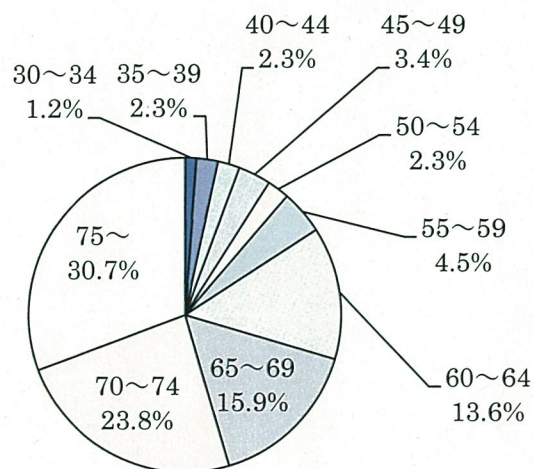
	回答数	構成比
男性	62	70.5%
女性	26	29.5%
合計	88	100.0%



アンケート回収者 88 人の内、男性は 62 人で全体の 70.5%、女性は 26 人で 29.5%だった。男性は女性の 2 倍以上であった。

(2) 年齢

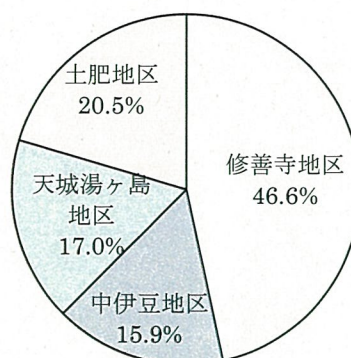
区 分	回答数	構成比
30～34 歳	1	1.2%
35～39 歳	2	2.3%
40～44 歳	2	2.3%
45～49 歳	3	3.4%
50～54 歳	2	2.3%
55～59 歳	4	4.5%
60～64 歳	12	13.6%
65～69 歳	14	15.9%
70～74 歳	21	23.8%
75 歳～	27	30.7%
合計	88	100.0%



年齢区分では、29 歳以下は該当者なし。30～34 歳が 1 人で 1.2%と最も少なく、59 歳以下では、それぞれ 5%以下であるが、60～64 歳が 13.6%、65～69 歳が 15.9%、70～74 歳が 21%、75 歳以上では 30.7%と年齢が高齢化するのに比例して腎臓機能障がいの方が増加する結果となった。これは、一度腎機能がある程度まで低下してしまい、慢性腎臓病になってしまうと改善することが困難であることの現れだと思われる。

(3) 地区別

	回答数	構成比
修善寺地区	41	46.6%
中伊豆地区	14	15.9%
天城湯ヶ島地区	15	17.0%
土肥地区	18	20.5%
合計	88	100.0%



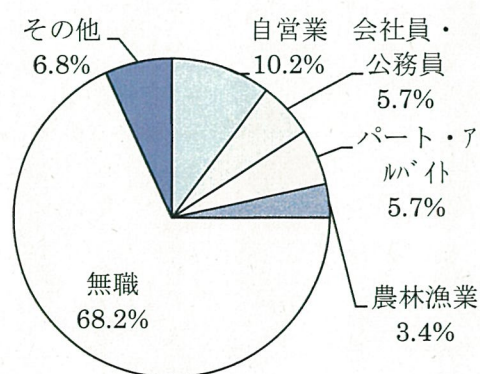
回答者による地区別比率は、修善寺地区が 46.6%、土肥地区が 20.5%、天城湯ヶ島地区が 17.0%、中伊豆地区が 15.9%であった。地区別の回答率にもよるが、中伊豆地区が人口の構成比に対して 6.9%少なく、逆に土肥地区は人口比に対して 8.3%多かった。

【参考】H27.4.1 現在の人口

	人口(人)	構成比
修善寺地区	14,833	45.4%
中伊豆地区	7,452	22.8%
天城湯ヶ島地区	6,394	19.6%
土肥地区	3,999	12.2%
合計	32,678	100.0%

(4) 職業

	回答数	構成比
自営業	9	10.2%
会社員・公務員	5	5.7%
学生	0	0.0%
パート・アルバイト	5	5.7%
農林漁業	3	3.4%
無職	60	68.2%
その他	6	6.8%
合計	88	100.0%



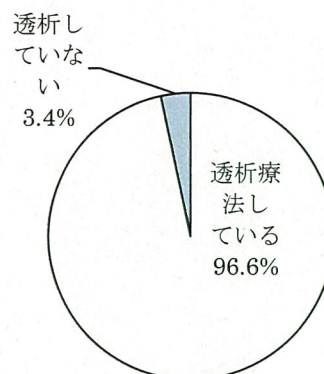
職業については、無職の方が 68.2%と一番多く、その他を除いて、自営、会社員、パート、農林漁業等 25%の方が、何かしらの仕事についている状況であった。

3. 設問別調査結果

(1) 透析療法の実施について

【問 5】あなたは現在、^{とうせきりょうほう}透析療法を受けていますか。(いずれかに○)

	回答数	構成比
透析療法している	85	96.6%
透析していない	3	3.4%
合計	88	100.0%

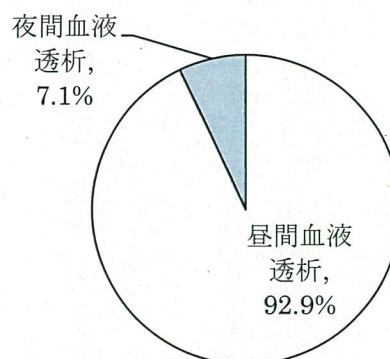


88 名中 85 人 96.9%の方が、透析療法を受けていた。

(2) 透析の形態について

【問 6】透析の形態についておたずねします。(いずれかに○)

	回答数	構成比
昼間血液透析	79	92.9%
夜間血液透析	6	7.1%
在宅血液透析	0	0.0%
腹膜透析	0	0.0%
合計	85	100.0%



透析療法の形態については、92.9%が昼間血液透析を受けており、夜間血液透析は 6 人 7.1%であつた。在宅血液透析と腹膜透析の方はいなかった。

【夜間血液透析者・地区別】

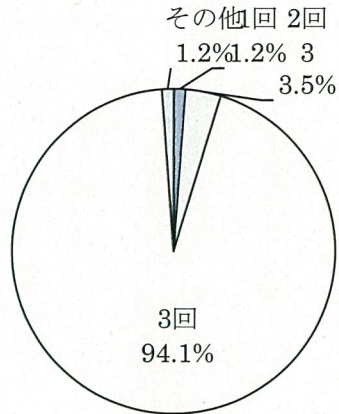
	回答数	修善寺地区	中伊豆地区	天城湯ヶ島地区	土肥地区
自営業	1	1			
その他	1				1
無職	2	1		1	
その他(運転手・団体職員)	2		1	1	
合計	6	2	1	2	1

夜間血液透析者はすべて男性で、職業別にみると 2 人が無職で他の 4 人は就業者であつた。

(3) 透析の回数について

【問 7】透析のための通院回数は週に何回ですか。(いずれかに○)

	回答数	構成比
1 回	1	1.2%
2 回	3	3.5%
3 回	80	94.1%
その他	1	1.2%
合計	85	100.0%

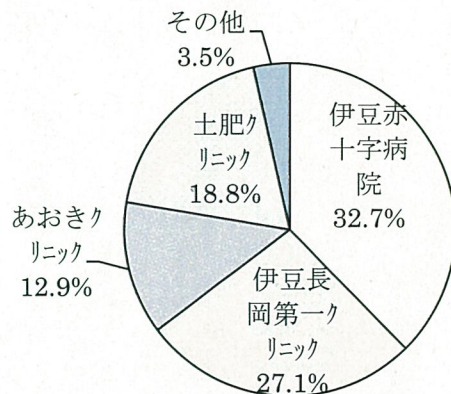


透析のための通院回数は、週 3 回の方が 80 人で 94.1%、週 2 回の方が 3 人で 3.5%、週 1 回の方が、1 人で 1.2%であった。

(4) 透析を受ける医療機関について

【問 8】どちらの医療機関で透析を行っていますか。(いずれかに○)

	回答数	構成比
伊豆赤十字病院	32	37.7%
伊豆長岡第一クリニック	23	27.1%
あおきクリニック	11	12.9%
土肥クリニック	16	18.8%
その他	3	3.5%
合計	85	100.0%

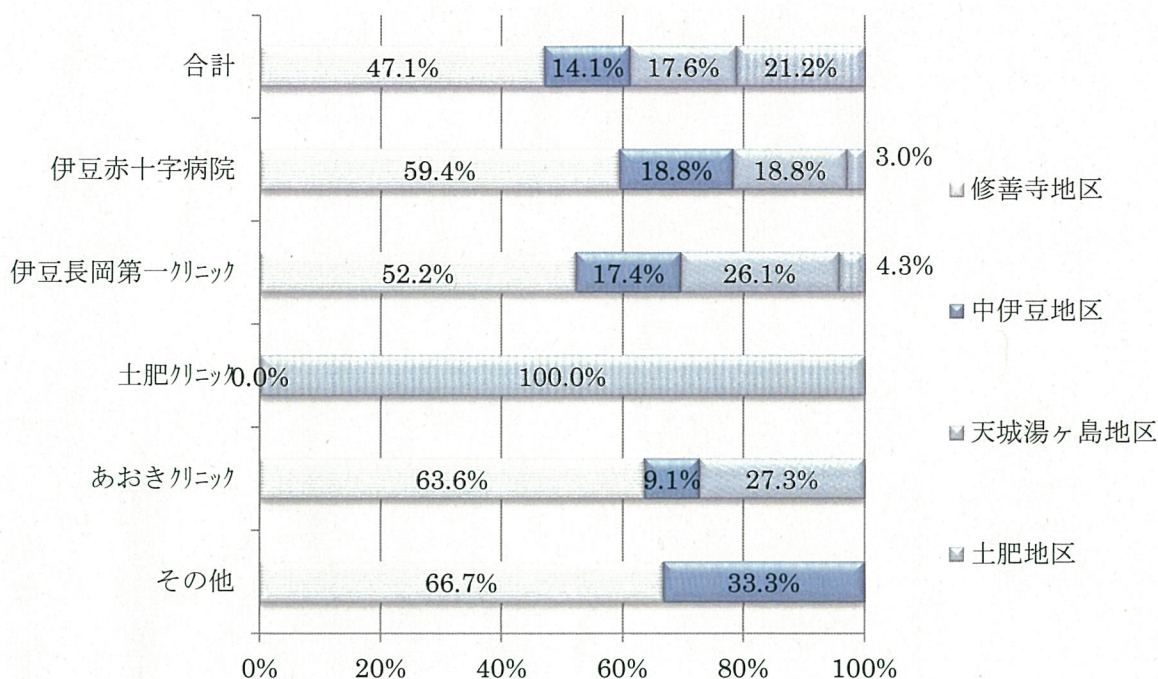


血液透析を受けている方を医療機関別でみると、85 人の内「伊豆赤十字病院」の方が 32 人で 37.7%で 1 番多く、次に「伊豆長岡第一クリニック」が 23 人で 27.1%、次に「土肥クリニック」が 16 人で 18.8%、「あおきクリニック」が 11 人で 12.9%、「その他」3 人 3.5%となっている。その他には、伊東横山医院、はあとふる川奈で中伊豆地区の方の利用だった。

各医療機関の利用者を地区別でみてみると、全体では修善寺地区が 47.1%、中伊豆地区が 14.1%、天城湯ヶ島地区が 17.6%、土肥地区が 21.2%となっている。

土肥クリニックの利用者は、100%土肥地区の方の利用となっている。夜間血液透析の方は、全員が長岡第一クリニックで透析を受けている。これは、現在田方地区内では、他に夜間血液透析ができる医療機関がないためだと思われる。

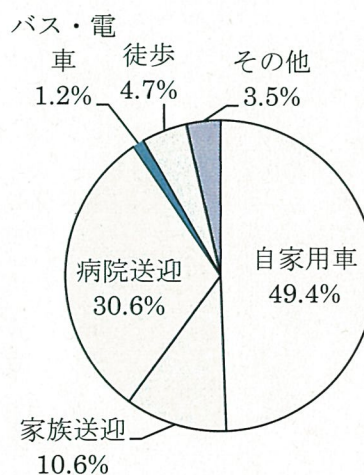
【透析を受ける医療機関・地区別】



(5) 通院手段について

【問 9】通院方法についておたずねします。(主なもののいずれかに○)

	回答数	構成比
自家用車	42	49.4%
家族送迎	9	10.6%
病院送迎	26	30.6%
タクシー	0	0.0%
バス・電車	1	1.2%
徒歩	4	4.7%
その他	3	3.5%
合計	85	100.0%



透析時の主な通院手段は、自家用車が 49.4%で最も多く、次に病院の送迎で 30.6%、家族送迎が 10.6%だった。その他の 3 人は、介護タクシーが 1 人、2 人が入院中であった。バス・電車での通院は 1.2%のみであった。

(6) 夜間透析の医療機関について【夜間血液透析対象者】

【問 10】今の病院・クリニックに通っている理由をおたずねします。

(主なもののいずれかに○)

	回答数	構成比
主治医の紹介	3	50.0%
自宅に近い	0	0.0%
職場に近い	1	16.7%
その他	2	33.3%
合計	6	100.0%

夜間血液透析者の 6 名について、今の病院・クリニックに通っている理由としては、主治医の紹介が 3 人で 50%、職場に近いからが 1 人で 16.7%、その他の 2 人は夜間透析の対応医療機関が他にないからであった。

(7) 夜間透析の生活への影響【夜間血液透析対象者】

【問 11】透析を理由に引っ越しや転職を考えたことはありますか。(いくつでも)

	回答数	構成比
引っ越しを考えた	1	16.7%
転職を考えた	0	0.0%
どちらも考えたことはない	5	83.3%
その他	0	0.0%
合計	6	100.0%

夜間血液透析者の 6 名の回答によると、引っ越しを考えたことがある方が 1 人、他の 5 人はどちらも考えたことはないであった。

(8) 伊豆赤十字病院での夜間透析について【夜間血液透析対象者】

【問 12】もし、伊豆赤十字病院で夜間透析が可能となった場合、あなたは利用しますか。

(いずれかに○)

	回答数	構成比
すぐに利用したい	1	16.7%
利用を検討する	4	66.6%
利用しない	1	16.7%
合計	6	100.0%

夜間血液透析者の 6 名の回答によると、利用しないが 1 人。すぐに利用したいが 1 人。利用を検討するが 4 人であった。

(9) 市の支援について【アンケート対象者全員】

【問 13】透析療法を受けている方への市の支援としてどのようなことが重要と思われますか。ご意見をお聞かせください。

アンケート回答者の意見を尊重するため、記入していただいたものすべてを転記した。

地区名	性別	年齢区分	意見
修善寺	男	65-69	給食の充実。現在民間の給食は値段が高すぎる。プラスまずい。
中伊豆	男	55-59	生活面への支援。一人一人生活の状態が同じではありませんので、具体的に書けませんが、個人に応じた支援をきめ細かにお願いします。
中伊豆	男	75-	十分な支援を頂いており、現状で不満や必要性は全くありません。
修善寺	男	60-64	特になし【夜間透析者】
修善寺	男	65-69	特になし
修善寺	女	75-	・透析を受けている所で相談・指導を受けている。 ・食事に関するアドバイス ・体調管理
修善寺	男	70-74	今のままで十分です。
天城湯ヶ島	男	65-69	年金だけでは生活が苦しい。【夜間透析者】
天城湯ヶ島	男	75-	・食事は病院でたのんでいます 500 円です。 ・コンビニ弁当が安くておいしいので、コンビニ位に補助していただきたい。
土肥	男	60-64	・通院の支援 ・健康保険と介護保険のどちらも対象外の助成 ・通院費の助成
天城湯ヶ島	男	60-64	・夜間透析をしてくれる病院を、是非、伊豆市内の病院でやってほしい。 ・通うのが大切、家族も大変。よろしくお願い致します。【夜間透析者】
修善寺	男	65-69	・4 時間(長時間)の透析は非常に疲れますので、短時間で効果的な方法があればと思います。せめて、週 2 回だとありがたいのですが。
中伊豆	男	60-64	現状でもいいと思う。【夜間透析者】
修善寺	男	70-74	高額は負担を市に負わせてしまい申し訳なく又、感謝しております。 今後も引き続きお願いいたします。又、通院を考える上で、病院の車を利用となると、長時間掛かることが苦なので、何とかしていただけると有りがたいです。
修善寺	男	35-39	夜間(できれば遅い時間まで)透析ができる場所がほしい。 可能であれば、休みなく。【透析未実施者】

平成 27 年度 腎臓機能障がいに関するアンケート調査報告書

地区名	性別	年齢区分	意見
修善寺	女	45-49	<ul style="list-style-type: none"> ・透析を受ける事により、透析困難症になり働けない為収入がないので、医療費全額支援希望。 ・透析以外の通院受診が多い為、タクシー券を現在より増やしてほしい。 ・現在医療費は、後から戻りがあるが、窓口で支払うことができる様にして欲しい。(後戻りではなく) ・スーパーなどに、車イスなどを置いて欲しい。
修善寺	男	70-74	【問 12】日赤で透析の場合、送迎が有りか無か
土肥	女	75-	色々と御心配かけてくださりかんしゃのかぎりです
土肥	男	70-74	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の時の支援 ・若い人 → 夜間透析 ・病院送迎支援 → 高齢者
中伊豆	男	75-	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤の職員の方 対応の仕方を善処してほしい。 ・人手もあるだろうが、なげやりの態度が見られる。
天城湯ヶ島	女	75-	<ul style="list-style-type: none"> ・血管が細いので、血液の流れが悪くなる人が多い ・外科病院迄行き血管を拡げる事とで不安です 病院内でこのような治療が出来ると安心ですか？
土肥	男	75-	有難う御座います
修善寺	女	60-64	<p>透析患者さんが市で 100 名を越えているとは大変おどろきました。高額医療なので、市には大変ご迷惑をかけていると思い導入時期には少しでも恩返しが出来たらと思い七年間ボランティア活動をさせていただきました。家にいるだけでは、本当の病人になってしまうところ、多くの仲間と出会い、楽しい日々を送った事を思い出します。</p> <p>今は透析のない日には、パートに出ております。働く事によつて元気を取り戻したような気がします。雇い主様に感謝しております。</p> <p>最近では若い方の導入も増えているようですが、年齢的なものもあると思いますが、透析以外元気な方は働く事をお進めしたいです。</p> <p>そのためにも、伊豆赤十字病院に夜間透析ができれば、働く患者さんにとっては今まで以上に充実した日々が送れると思います。</p> <p>※月 1 度の窓口での親切な応接に感謝しております。</p>
土肥	男	75-	今の所 特に不都合はなく満足している
天城湯ヶ島	女	55-59	安心して透析療法を受けられる環境作り
修善寺	男	70-74	自分で自家用車を運転通院出来る間は良いが、送迎なしで、通院出来なくなった場合日赤のシステムでは？

平成 27 年度 腎臓機能障がいに関するアンケート調査報告書

地区名	性別	年齢区分	意見
中伊豆	男	75-	天城高原は雪が降るため、冬は大変で伊東の病院の近くに泊まる事が何回もあります。バスの優待券がありますが、伊東までに使い道がなくいつもいただいても無駄にしています。 何か良い方法でもあればと思いますが・・・・
修善寺	男	60-64	費用補助 送迎
修善寺	男	65-69	今のところ、特にはありません
天城湯ヶ島	女	70-74	自宅に近いから、いづれは日赤に変更したいと個人的に思っています
中伊豆	女	75-	ありがたいと思っています
修善寺	男	55-59	就職相談、斡旋等
修善寺	男	60-64	伊豆市内で夜間の透析が出来る病院の実現を希望する。関連して、昼間の透析時間を無くしてパート・アルバイトの仕事をしていくらかでも社会と係りたく、その就職の斡旋等の支援をお願いします。 (透析患者は、社会的にも障害者として差別されます。したがって就職は難しいです)
土肥	女	65-69	自家用で通院しているが、ガソリン代を少しでも補助してもらいたい
土肥	女	60-64	透析にならないように前段階の治療やケアを徹底する。

4. まとめ

このアンケートでは、回収率が 73.9%とアンケートに対する関心度が高かったものと思われる。今回のアンケートで腎臓機能障がいの回答対象者のうち男性の割合が女性よりも 41%も多いことが分かった。また、年齢区分が高齢化するにつれ、腎臓機能障がい対象者も増加する結果となった。年齢区分でみると、60 歳を過ぎた頃から急に対象者が増えている。

回答者を地区別にみると、土肥地区の割合が地区人口に対して多い結果となった。職業別では、68.2%の方が無職であったが、年齢区分によると 60 歳以上が 84%であるので、60 歳を過ぎてても何かしらの仕事をしている方が多いと思われる。就業者の状況を見ると、25%の方が何かしらの仕事についており、中でも自営業が 10.2%と多かった。

透析療法については、96.6%の方が受けており、内訳は昼間血液透析が 92.9%、夜間血液透析が 7.1%であった。夜間透析者 6 人の内、4 人は就業者であった。

血液透析を受ける医療機関では、伊豆赤十字病院が 37.7%で最も多く、以下、伊豆長岡第一クリニック、土肥クリニック、あおきクリニックであった。夜間血液透析者は全員が伊豆長岡第一クリニックでの透析となる。

主な通院手段としては、自家用車が最も多く 49.4%で、家族の送迎と併せると 60%の方が自動車での通院となり、通院の負担は大きいものと思われる。病院送迎の利用は 30.6%となっている。

伊豆赤十字病院での夜間透析が可能となった場合についての意見では、現在の夜間透析者 6 名の内、5 名がすぐに利用したい。または、利用を検討するといった回答であった。

以上、アンケート調査結果の概要であるが、この結果については、今後の障がい福祉支援策の参考資料としていきたい。